

# 迎春



## 社会のきずなこそ 原動力

天草市長  
安田 公寛

新年おめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、心から喜び申し上げます。さて、天草市が誕生して、この3月で4年目を迎えます。私は平成18年4月の市長選挙時に、「日本の宝島“天草”の創造」を基本理念に50の政策を掲げたローカル・マニフェストを発表し、政策の着実な実現に取り組んできました。今年も、これらの政策を成果という視点でしっかりと捉え、取り組みを進めていかなければなりません。

その一つとして、まずは「社会のきずな」の強さこそが宝島づくりの原動力であること、を再確認し、まちづくり協議会と地区振興会のさらなる活性化と自立への取り組みを引き続き支援していきます。また、広域ネットワーク整備事業など、これまで推進してきた事業が形を現してきます。本市の将来につながるためにも、これらの事業にしっかりと取り組んでまいります。昨年来、100年に1度といわれる世界的不況の波は、本市にも押し寄せています。地場産業の振興や企業誘致、雇用対策は喫緊の課題として、各種政策を効果的に推進していきたいと考えています。天草市としての一体感を醸成し、市民と行政の協働でつくる「日本の宝島」の実現に向け、粉骨砕身、全力をあげて取り組んでまいりますので、今後なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年が、市民の皆様にとりまして幸多い年となりますようご祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

## 日本の宝島を めざして

天草市議会議長  
濱 廣昭

明けましておめでとうございませう。平成21年の年頭にあたり、市議会を代表し、謹んでごあいさつを申し上げます。とくに、平素の深いご理解と温かいご支援に対し、心からお礼を申し上げます。さて、本市の誕生から、本年3月で3年が経過しようとしております。市政におきましては、『日本の宝島“天草”の創造』に向け、第1次天草市総合計画をもとに各種施策が着実に推進されております。これまで、高度情報化社会

に対応すべく推し進められていた広域ネットワークの整備、各地区振興会の活動支援、交流人口の増加を図るための観光施策や天草グリーンライフコミュニティ事業の展開など、本市の強固な基盤づくりに全市をあげて取り組んでまいりました。

しかし一方では、急激な人口減少や少子高齢化、さらには有害鳥獣による農作物被害の増大、魚価低迷と漁獲量の減少、これに原油高騰が追い討ちをかけて市民経済を直撃し、税収の減少が懸念されるなど、市政における課題は山積しております。

私たち市議会にとりましては、本年が1期4年の集大成となる最後の年でもございませう。市民の皆様のご信頼と、その負託を受けた者としての責務の重大さを胸に、本市発展のために全力を傾注してまいりたいと、決意を新たにしております。ごあいさつといたします。

市民の皆様には、本年も、昨年に変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます、新年のごあいさつといたします。



— 遠見山・桜木展望所からの眺望 (12月11日撮影) —

市民の皆様  
あけまして  
おめでとうございます



天草市役所  
市長 安田 公寛  
副市長 古田 勝人  
天草市議会議長 濱 廣昭  
副議長 野嶋 健一

議員  
池田 次人  
北野 鋼一  
藤崎 正博  
濱崎 昭臣  
江浦 政巳  
吉川 徳澄  
本田 武志  
大塚 基生  
平石 水穂  
宮下 重康  
楠本 千秋  
中村 五木  
平山 泰司  
脇島 義純  
池田 裕之  
松江 雅輝  
田中 茂  
赤木 武男  
鎗光 秀孝  
中村 三千人  
船辺 修  
蓮池 良正  
若山 敬介  
勝木 幸生  
宮下 幸一郎  
中尾 友二  
古賀源 一郎  
浜崎 義昭